

感謝

平成二十三年六月二十五日

平成二十三年八月十九日

愛寿会後援会への協力

愛寿会・仁生園・第二仁生園へのご協力ありがとうございます。

いつもご協力をいただき心から感謝申し上げます。何卒、これからもご支援のほどを、また、ご叱正を賜りますようお願い申し上げます。略儀ながらお礼状に代えさせていただきます。

金員・物品のご寄付

- ・北杜市長坂町 清水 和子 様
- ・北杜市高根町 井上 泉 様
- ・北杜市白州町 田ノ内 宏 様
- ・北杜市長坂町 鈴木 幾江 様
- ・北杜市長坂町 清水 俊子 様
- ・北杜市長坂町 菜がさ果 様

ボランティア活動

- ・愛知県春日井市 小尾 清江 様
- ・韮崎市藤井町 介護センター花岡 坂本 忠征 様
- ・北杜市長坂町 菊嶋 保 様
- ・志木市中宗岡 杜の舞・髪 フアラロハひまわり 様
- ・北杜市高根町 フアラロハひまわり 様
- ・北杜市小淵沢町 北杜高等学校 長坂中学校 小淵沢中学校 小荒間保護司会 保坂 多枝子 和田国明ご夫妻 合唱ボランティア うたななかま八ヶ岳 朗読ボランティア グループ 朗らか 様
- ・北杜市 北杜市 様

- ・北杜市小淵沢町 茅野 光一郎 様
- ・北杜市小淵沢町 砂山 可乃江 様
- ・北杜市大泉町 北原 義忠 様
- ・北杜市長坂町 清水 健二 様
- ・北杜市長坂町 大岡 忠彦 様
- ・北杜市長坂町 浅川 元晴 様
- ・北杜市長坂町 小池 正直 様
- ・北杜市長坂町 小松 けさ子 様
- ・北杜市長坂町 長坂 金曜会 様
- ・北杜市明野町 清水 充 様
- ・北杜市長坂町 フジデンキ 様
- ・さいたま市大宮区 野口 祐 様
- ・北杜市武川町 新藤 生会 様
- ・荒川区南千住 佐藤 きよ子 様
- ・北杜市小淵沢町 宮坂 文子 様
- ・北杜市高根町 坂本 仁 様
- ・北杜市小淵沢町 佐藤 鈴江 様
- ・北杜市高根町 長田 伯雄 様
- ・北杜市白州町 埴原 さよこ 様
- ・日野市神明 木村 邦昭 様
- ・北安積郡松川村 浅原 恵美子 様
- ・北杜市穴山町 栗原 信 様
- ・北杜市大泉町 谷桜酒造(有) 坂本 昭一 様
- ・諏訪郡原村 武田 昭久 様
- ・北杜市長坂町 坂本 ちづ子 様
- ・北杜市高根町 植松 桂 様
- ・北杜市小淵沢町 進藤 英三 様
- ・北杜市長坂町 小藤 太夫 様
- ・北杜市長坂町 仲山 勝子 様
- ・北杜市長坂町 葉山 憲二 様
- ・北杜市長坂町 山本 弘行 様
- ・北杜市長坂町 清水 義長 様
- ・北杜市長坂町 山梨中央銀行 山梨中央銀行 様
- ・北杜市長坂町 宮崎 良幸 様
- ・北杜市須玉町 進藤 くに 様
- ・北杜市小淵沢町 北杜市小淵沢町 様

八月は中・高生の体験学習の月…

「介護への思いを新たにしました」

との感想をいただきました

仁生園は山梨県でも屈指の歴史を有する高齢者施設です。また、第二仁生園は県内初の障害者自立支援施設：

そういうこともあって、八月は体験学習を希望する中学生、介護実習を希望する高校生が、五十人程になりました。

ここ数年、四月一日に採用された小中学校の先生、支援学校の先生の実習も加わりました。一日体験の方もあり、数日実習の方もありますが、何れを問わず「大変勉強になりました。」と感慨ぶかげに語りながら帰途につかれました。

以下は、参加した一人の高校生から寄せられた感想です。

「今回は本当に勉強になりました。私の祖母は元氣そのものです。ですから私も介護のことをほとんど考えませんでした。

それが今回大勢の高齢者に触れ、その介護に汗を流し続ける職員皆さんの懸命な姿に接し、頭の下がる思いがしました。食事、入浴、排せつ等の介助の仕事も垣間見ることができました。高齢者の残存能力を上手に生かしながら仕事を進めているさまを眼にしながら『介護は確かに専門職』との認識を持ちました。

高齢者が最も多くなるのは今から十五年後のこと。びつくりでした。高齢者問題の深刻さを改めて知りました。

何れ私もこの道の専門職になろうと心に誓ったところです。

この度の実習…誠にありがとうございました。」

愛寿会 たより

9月号
第147号
平成23年
9月1日発行



優先入所審査会の様子

優先入所制度の活用をご検討ください

仁生園ケアサービス部副園長 浅川 まゆみ

現在、特別養護老人ホーム仁生園に入所を希望し待機されている方は四百八十人です。ただし、この中には複数の施設に申し込まれている方も相当数いらっしゃるかと思います。ですから、待機実数はその半分以上かと思っています。

厚生労働省が七月に発表した「国民生活基礎調査」によると六十五歳以上の方がいる世帯のうち二九・九%が「夫婦のみの世帯」、二四・二%が「単身世帯」、一八・五%が「親と未婚のみの世帯」とのこと。つまり合計七二・六%がいわゆる介護力が低い世帯ということになります。

反面、国家財政の窮状から特別養護老人ホームの増床、増設は望めません。

国は、代わりに市町村による給食・見回りなど「総合的な介護事業」といわれる事業への取り組みを推進したり、民間事業者によるケア付き高齢者住宅の整備等を進めています。切迫した高齢者への援護の起死回生策となり得るかは未知数です。

そのような動向の中、仁生園では心底困っている方々のための施設でなければならぬとして、一昨年（平成二十一年）優先入所制度を規則で決めました。介護を要する方の細かい状況、家庭の介護力、かかりつけの医師やケアマネージャーの意見を点数化し、八十点前後になった場合、今度は外部委員三名を加えた優先入所審査委員会に付し、最終的に可否を決めることになっています。

理事長は「一切、審査委員会で決定するように：公正公平に徹するように：。ただし、血も涙もない審査委員会でも困る」と言っています。

血も涙も：と言われると本当に困惑します。例えば、一人暮らしの問題。子が五人あっても全部県外で暮らしていれば一人暮らしの扱いになります。

一方、独身の子供と高齢者が二人で地元で生活している。その子の働きで生活をしている。勤務先でも中核的存在で退職など考えられない：こういったケースがあると思います。この場合、同居しているからとの理由で、基準の点数に足りないといった状況になります。

県の指針を基準に点数化を図っているのですが、これでいいのか思案にくれます。

優先入所といいますが必ずしも門戸は広くありません。しかし、何とかしてあげられないか：と、審査委員一同真剣に議論を重ねています。

これまで、在宅サービス等を活用しながらどれだけ頑張って介護されてきたか。家族の病気等で、介護環境がどう変わったのか、経済的負担はどうか等がポイントになると思います。

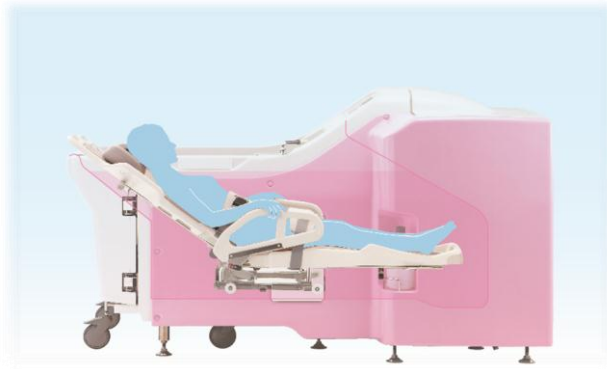
まずは、一度ご相談いただけたいと思います。

連絡先は **〇五五一一三三三三〇**

浅川までお願いします。

仁生園 一号館に新型特殊浴槽が入りました 手足をいっぱい伸ばせて快適です

ここ数年めっきり、介護度の高い方の利用が多くなりました。入浴も専用の車いす方式による方、ベッド方式による方など、さまざまです。



イメージ図はオージー技研(株)提供
事故防止用足首固定バンドも附属しています

最近、上のイメージ図のように、ほぼ水平状態まで何段階か調整でき、しかも両足を目いっぱい伸ばして入浴できる新製品が開発され、利用されるようになりました。

このことにより第一に、利用者の身体の状態に合わせて、最も適切な姿勢での入浴が可能になります。第二に、職員の負担が軽減されることとなります。

そこで、厚生労働省の「介護労働者設備等導入奨励金」(補助率二分の一)の制度を活用、その整備を図ることになりました。

六月十六日に山梨労働局長から本事業についての認定通知をいただきました。

よって、同月二十八日、七社による指名競争入札を実施しました。

その結果、南アルプス市の有限会社平穂医科器械が、落札しました。

契約額は、消費税込み三百八十八万五千円でした。七月二十七日、同社はオージー技研製の特殊浴槽一基と入浴専用ベッド二台を納入しました。早速利用を開始しました。

小荒間の「子どもみこし」

仁生園を訪問 利用者の皆さまを激励

小荒間のお盆の行事の一つに十四日の「子どもみこし」があります。子どもたちが衣装を改め、お化粧をして出発、集落内を練り歩きます。仁生園にも毎年立ち寄ってください。

今年も三十度を超える猛暑の中「ワッショイ ワッショイ」の掛け声を上げながら神輿が前庭に入ってきました。

利用者の皆様三十余名が曾孫(ひまご)のような子どもたちを満面の笑みで迎え、終始拍手止まらずでした。



仁生園の送り火

八月十三日(土)の夕方「麻幹(おがら)」を焚いて精霊を迎えたばかりですが、あつという間に三日間が過ぎ、十六日(火)には送り火を焚きました。仁生園入所者四十人程が前庭に集まり、口々に「来年も来てくださいいね」と声を掛けておられました。第二仁生園でも同じように迎え火・送り火を焚き、伝統行事を大事にしました。



仁生園の模擬喫茶

仁生園・第二仁生園とも入所者の皆さまの生活が単調に失しないよう年間を通じ誕生会、絵手紙、ショッピング映画鑑賞、華道、模擬喫茶などの行事を行っています。八月十六日(火)は、仁生園の模擬喫茶でした。《喫茶いこい》に集まり、「いちごプリン」・「抹茶ゼリー」・「チョコカステラ」それに定番の「今川焼」などを楽しみながら昔話に華を咲かせました。



ゴーヤさまさま...

夏ECOでゴーヤジュースやゴーヤの副菜など

みんなで楽しみました

東日本大震災をきっかけに日本中で「ECO(省エネ)」の動きが急になりました。仁生園・第二仁生園でもゴーヤを植えたり、ベランダに鉢植えをしたり工夫しています。利用者の皆さまが進んで「水やり」などの作業を手伝ってくださり大助かりでした。

暑さ対策にもなりましたが、八月半ばから実が成りはじめ、これをどう活用するかについて職員みんなで相談しました。「ゴーヤジュースを作ってみよう」ということになり、職員が家庭用ジョーサーを持



仁生園3班の利用者・ご家族による水やり

ち寄ったり、砂糖とバナナを買ってきたり大わらわでした。八月中に二回ジュースを作り、利用者の皆さまに提供しました。大好評で「おいしい」の連発でお代わりの希望もありました。

ゴーヤは実をつけだすと続々です。お盆過ぎに給食業務を担当している日清医療食品に相談したところ「独特の苦み(がみ)を残しながら季節の食材として利用しよう」ということになり八月二十九日(月)に仁生園・第二仁生園の利用者の皆さまに提供しました。九月早々に、もう一回副菜としての活用を考えた...と日清の皆さまも張り切っています。

八月十日(水)は流しそうめん...

とても楽しかったです

立秋が過ぎても暑い日が続いた八月、職員が手作りで準備してくださった「流しそうめん」の一式。おやつ

時間を兼ねて楽しみながら、全員がお代わりの連続でした。

向日葵(ひまわり)の花を眺め、蝉しぐれを聞きながら、有意義な語らいのひとつとしました。



じゃがいも掘りに汗を流しました

昨年の秋から冬にかけて、作業棟を建設しました。その際、前庭にミニ農園を造成、四月にじゃがいも、五月にモロッコなどを植えました。

八月十八日(水)にはじゃがいも掘りをしました。思った以上に収穫できました。掘りたてのじゃがいもで夏野菜カレーを作ったり、豆と一緒に「煮ころがし」を作って楽しみました。



第二仁生園のお楽しみ

八ヶ岳原村へバスハイクに行ってきました

八月二十四日(水)久しぶりに晴れた一日でした。この日は避暑ドライブとして、原村の八ヶ岳実践大学の牧場へ出かけました。

前日までの雨とはうって変わって清々しい日になりました。お楽しみバスハイクを心待ちにしていた皆さんも一安心でした。



八ヶ岳実践大学の牧場にて

楽しかった・おいしかった...ぶどう狩り

第二仁生園のもう一つのお楽しみは、ぶどう狩りです。八月三十一日(水)には、韮崎市穂坂の近藤農園さんのみごとぶどうに舌鼓をうちながら秋の味覚を満喫しました。

毎年参加する方々はこの日を楽しみにして、時の経つのを忘れながらも、初秋の穂坂路をあとにしました。

